

# 富士山の山体変動観測（2002年2月－2002年5月）\*

## Ground deformation monitoring on the Fuji volcano between February 2002 and May 2002

産業技術総合研究所地質調査総合センター\*\*

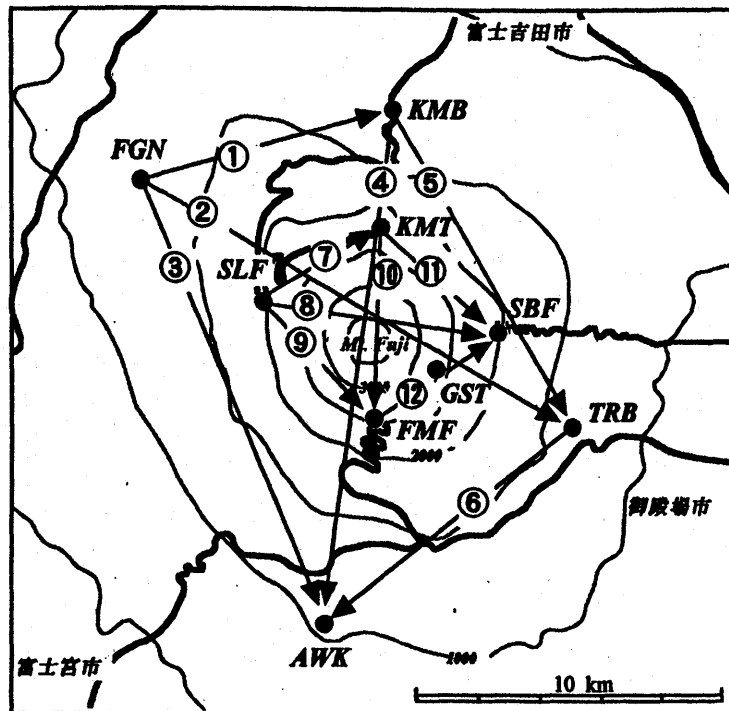
Geological Survey of Japan, AIST

産業技術総合研究所では、富士山の山体変動を観測するために、GPS及び光波測距観測網を設置した<sup>1)2)3)4)</sup>。GPSの配置を第1図に示す。

GPS連続測定観測点は、南東斜面に4点(太郎坊:TRB、粟倉:AWK、御殿場口六合目:GST、富士宮口新五合目:FMF)、北西斜面に4点(小御岳:KMT、スバルライン四合目:SLF、剣丸尾:KMB、富士ヶ嶺:FGN)、及び東斜面(須走口五合目:SBF)の新たな観測点1点の計9点に設置してある。このうち、GSTを除く8点には自動データ転送システムが設置してあり、公衆電話回線を通じたデータの転送が可能となるようにした。

自動転送システムにより回収されたデータのうち、12測線の水平変動成分を第2図に示す。データ取得期間内においては、顕著な距離の変化は認められない。

なお、本年度の作業は、運輸施設整備事業団基礎研究制度による「大都市における火山灰災害の影響予測評価に関する研究」の一環として行われた。各観測機器の設置に際しては、関係する多くの地主及び管理者の方々の御許可、御協力を得ることができた。記して深謝の意を表す。



第1図 富士山GPS観測網

Fig.1 Ground deformation monitoring network on Fuji volcano.

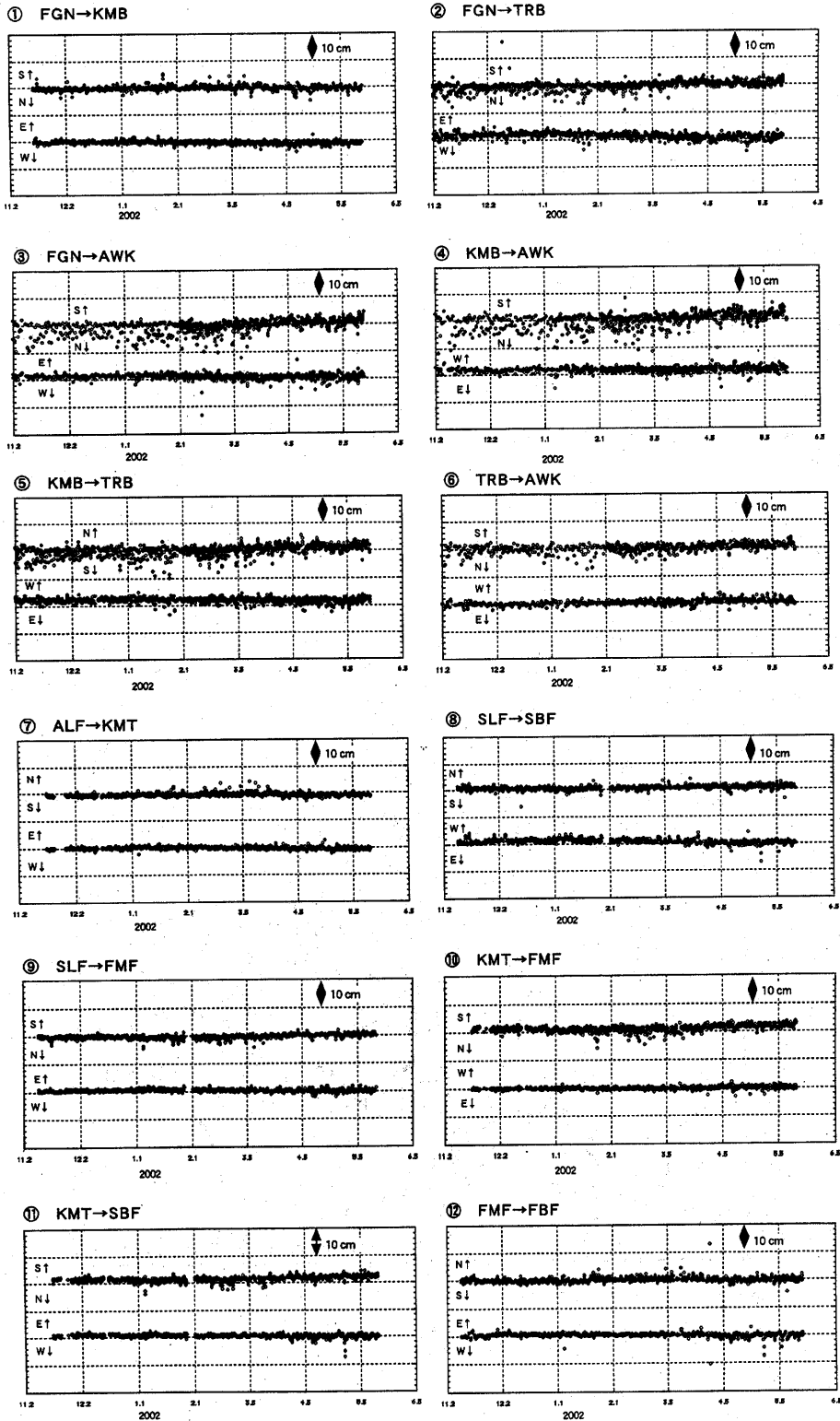
\* Received 1 Jul., 2002

\*\* 須藤 茂・斎藤英二・渡辺和明

Shigeru Suto, Eiji Saito and Kazuaki Watanabe

参 考 文 献

- 1) 地質調査所(2001):富士山の山体変動観測網, 噴火予知連会報,76,64-65.
- 2) 産業技術総合研究所(2001):富士山の山体変動観測(1999年12月-2001年5月), 噴火予知連会報,79,101-102.
- 3) 産業技術総合研究所(2002):富士山の山体変動観測(2001年5月-2001年10月), 噴火予知連会報,80,32-33.
- 4) 産業技術総合研究所(2002):富士山の山体変動観測(2001年10月-2002年5月), 噴火予知連会報,81,27-28.



第2図 富士山GPS観測結果

Fig.2 Change in base lines between some of the GPS stations on Fuji volcano.